

いま注目！共産党が提案

戦争法廃止の政府

日本共産党が提案している「戦争法廃止の政府」の内容を紹介します。

国民のたたかいをさらに発展させ 安倍政権をうちたおそう

「戦闘地域」での兵たん、治安活動、米軍防護の武器使用、集団的自衛権——海外での武力行使に道をひらく戦争法を、一刻たりとも放置するわけにはいきません。

安倍政権を打倒し、日本の政治に立憲主義と民主主義をとりもどしましょう。

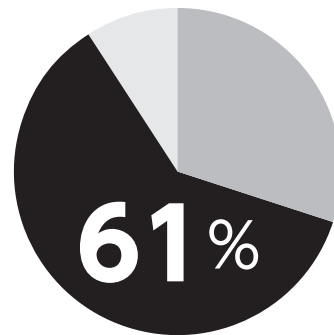
「廃止」の政党、団体、個人が共同し 国民連合政府をつくろう

日本共産党は、戦争法廃止の一点で一致するすべての政党、団体、個人が力をあわせて「国民連合政府」をつくることをよびかけます。政策・立場のちがいを互いに留保・凍結し、大同団結しようという提案です。

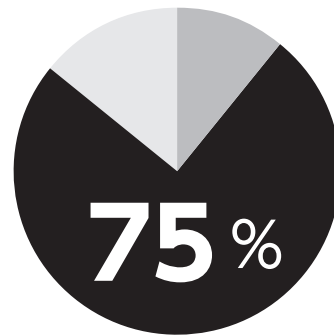
つぎの国政選挙で 野党の選挙協力をおこなおう

日本共産党は、「戦争法廃止の国民連合政府」で一致するすべての野党と選挙協力をおこなうために誠実に力をつくします。昨年の総選挙の沖縄1～4区では、「基地建設反対」の一点で選

戦争法強行に民意は



今の国会
成立に反対
JNN調査9月5、6日



説明が
つくされてない
「朝日」9月14日付

挙協力しました。立憲主義・民主主義・平和主義をつらぬく新しい政治をご一緒に実現しましょう。

提案に共感広がる

作家・僧侶 瀬戸内寂聴さん

「共産党のよびかけは、たいへん結構です。しっかり願います。野党がまとまって力を強くしないとダメですね。…お互いに虚心坦懐（たんかい）に力を合わせてほしい」（「しんぶん赤旗」日曜版9月27日付）

慶応大学名誉教授・弁護士

小林節さん「日本共産党の呼

びかけには『わが意を得たり』という思いです」「私もできることをやっていきたいと思っています」（同）

ジャーナリスト 鳥越俊太郎

さん「野党にはそれぞれ立場の違う問題もあるが、それらを乗り越えて、安倍政権打倒の一点で一致して選挙をたたかってほしい」（「しんぶん赤旗」3日付）

「最後は政権を
変えるしかない」

長谷部恭男

早大法学学術院教授



「今回の安保法制を廃止する法案を提出して成立させるだけでは駄目で、集団的自衛権行使

を容認した閣議決定を『間違っていた』と、元に戻してもらえないといけない」（「東京」9月18日付）

国民の歩みは止まらない

戦争法廃案のたたかいは、空前の高まりとなりました。労組などが組織的にとりくんだ60年安保闘争の様相とは違い、一人ひとりが「いま声をあげなければ」と自発的に立ち上がりました。戦後70年、憲法の理念が根を下ろしていることを示

しています。シールズ SEALDsなど青年・学生のたたかいが急速に広がり、ママさんたちも立ち上がりました。日本の未来への明るい希望です。

日本共産党